

# 難病患者 さんのための



# 災害

## への備え



病気の症状や治療状況などにより、薬や医療機器使用に必要な電源の確保など、準備しておくことは様々です。「防災ガイドブック※」とともに、このリーフレットを確認し、**災害に備えて準備**をしましょう。

また、**電源を要する医療機器**を使用している方は、**難病患者災害時要援護者支援台帳**（以下「台帳」という。）を作成し、個別の計画を立てましょう。台帳は本人や家族、支援者の方々と共有し、適宜見直しを図ることが必要です。

## チェック 01 薬や医薬材料の準備

- 薬や医療機器の使用に必要な物品、衛生材料を1～2週間分手元に準備する
- 台帳やおくすり手帳を活用し、正しい服薬情報を伝達できるようにしておく

💡服薬の中断により、症状の再燃や悪化のリスクがあるので、主治医や薬剤師と、服薬について平時から相談をしておきましょう。



## チェック 02 移動・搬送・連絡調整

- 移動に介助が必要な場合、平時から自治会や近隣の方に協力を依頼しておくのも良いでしょう
- いざという時の避難、連絡手段やその場でできることを具体的に考えておく
- 想定した連絡手段が使えない場合に、最寄りの救護所や避難所から市の情報共有システムに患者情報を伝え、支援を求めることができるようにしておく

💡具体的な対策例

- 自治会へ要援護者としての情報をあらかじめ伝えておく
- 移動手段や援助者を確保しておく
- 定期的な避難訓練、防災訓練を実施する
- 搬送を求める目印やサインを準備しておく
- 自宅で療養できない場合の避難先を検討しておく など



【患者さんの声】  
自分の病名や病状を地域の人に詳しく伝えるのは抵抗がある…でも災害時にどんな支援が必要かは知っておいてもらいたい。

災害時要援護者のうち、体育館等一般の避難所での避難生活が著しく困難な方を受け入れるため、二次的避難所として「福祉避難所」を開設します。発災3日後を目途に開設され、専門職が避難の必要性を判断するため、現在直接避難はできません。

**大規模災害時は公助が行き届くまで時間がかかるので、自助・共助が非常に重要です!!**

## チェック 03 停電対策と非常用電源の確保

- どの非常用電源を準備・使用するか、主治医や訪問看護師、医療機器業者等と調整しておく
- 普段から非常用電源の使用方法を確認し、練習しておく
- 医療機器の代替方法を確認し、複数人が対応できるようにしておく
- バッテリー充電が可能な非常用電源設備がある場所を確認しておく

💡東京電力パワーグリッド株式会社は、医療機器の使用を登録した方に次のサービスを行っています。

- 停電発生時に停電エリアに居住の登録者に対し、可能な範囲で停電発生や復旧見込みを連絡
- 登録者に対する、年1回の文書の送付や電話等による自衛措置の勧奨



非常用電源の詳しいことは裏面をご覧ください

※「防災ガイドブック」（危機管理局作成）

一般的な防災関連情報を掲載。  
市内在住の方に全戸配布しています。



「さがみはら防災マップ」

避難所などの防災施設や土砂災害・洪水のおそれがある区域の情報を集約した電子マップです。災害時は避難所等の開設・混雑状況も表示されます。



# 非常用電源について

いざという時にどの非常用電源を使用するか、平時から主治医や訪問看護師、医療機器業者等と調整しておきましょう。普段から使用方法を確認し、練習しておくことも重要です。

## 人工呼吸器製造販売会社推奨非常用電源

### ■各機種専用外部バッテリー、製造販売会社推奨バッテリー

各種外部バッテリーや製造販売会社推奨バッテリーの保証期間は2年で、定期交換が必要です。

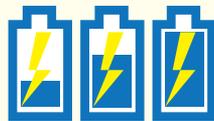
### ■人工呼吸器専用シガーソケットケーブル

自家用車まで移動して、車のバッテリーから電気の供給を受けることができます。

### ■医療用無停電電源装置（UPS）

対象となる人工呼吸器と電源コンセントの間に設置し、停電時は瞬時に電気を供給できるものです。アラームが作動しないこともあり、停電に気づかない場合があるため注意を要します。

## その他の非常用電源



### ■自家用車等のバッテリー

バッテリー単体では電気を供給することができないため、インバーターまたはシガーソケットなど接続のための機器を準備する必要があります。

### ■インバーター（DC/AC変換機）

インバーターとはDC（直流）電源を一般のコンセントと同じAC（交流）電源（100V）に変換するもの。動力源に接続する必要があります。

### ■蓄電池

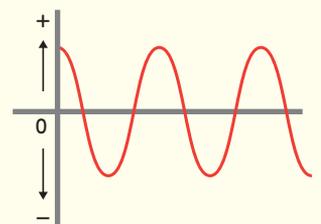
一般的に家庭用として開発されており、比較的安全性が高いという報告もあります。



## 非常用電源使用時の注意点

- 電気の出力波形が正弦波であるものを使用しましょう。波形が異なると、医療機器の誤作動や停止を招く可能性があります。
- 発電機、インバーター、UPS等の外部電源では「通常の使用方法ではなくリスクが伴う」ことを認識して使用することが重要です。緊急時の使用について、事前によく相談しておきましょう。
- 発電機使用による排出ガスには一酸化炭素ガスが含まれているため、室内で使用すると一酸化炭素中毒を起こす可能性があり、大変危険です。

**発電機の室内使用は禁忌です。**



正弦波とは交流（AC電源）の波形の一種で、周期的でなめらかな曲線を描く波形のこと



## 代替方法の確認

電源が切れた場合の対応について、複数人が対応できるように、手技の確認、物品の準備等をおきましょう。

- 人工呼吸器：バッグバルブマスクの使用による換気
- 吸引器：手動吸引や足踏み式吸引の実施
- 在宅酸素療法：酸素ボンベへの切り替え など

